

## 研究室情報 3

## 平成 13 年度コンサルテーション事業報告 2—臨床心理相談室—

長谷川啓三

東北大学大学院教育学研究科

- ・以下に 2001 年 4 月から 2002 年 2 月現在の相談件数を含む過去 4 年分の相談件数を示します。
- ・教育学部に付属する教育相談室での相談は昭和 49 年ごろより今日まで継続されているが、将来の臨床心理コースの設置を見通して、1995 年から、専攻の大学院生を対象として明確に教育目的としての相談を開始して今日に及んでいます。
- ・件数は、コンサルテーション、いわゆる「助言」にあたるものと、本格的なカウンセリング/心理相談とは区別して記した。1995 年からは今日の臨床心理コース設置を見越し面接訓練として、主に博士課程後期の学生による、教官の監督下での、面接件数を記したものである。そこでは教育目的にかなった問題を選択し数においても制限をする必要があった。
- ・臨床心理相談室における本格的なカウンセリングは現在のところ、専攻の大学院生の教育を目的として、電話での予約を受け、毎週木曜日を中心にして、例外的に月曜日にのみ学外的なサービスを実施している。
- ・数字は、助言については、すべて件数であり、カウンセリングについては、件数と延べ面接回数を示す。面接はすべて、本人と周りの家族が同席して面接する合同面接の形態をとったものである。
- ・面接は、来談者の許可をとった上で、本学教官と臨床心理学専攻の大学院博士課程後期の学生がチームを組み面接に臨んだ教育目的のための面接である。

## (1) 2001 年 4 月から 2002 年 2 月現在

	不登校関連	暴力を伴うもの	摂食障害	非行	他機関への紹介	その他	計
助言	102	13	17	18	3	1	154
心理相談	4(30)	2(13)	2(17)	1(5)	3	0	12(65)

(2) 過去分 2000年4月から2001年3月

	不登校関連	暴力を伴うもの	摂食障害	非行	他機関への紹介	その他	計
助言	82	12	24	20	3	8	149
心理相談	4(12)	1(7)	1(7)	1(2)	0	0	7(28)

(3) 1999年4月から2000年3月

	不登校関連	暴力を伴うもの	摂食障害	非行	他機関への紹介	その他	計
助言	62	8	8	12	2	1	93
心理相談	5(24)	2(8)	2(9)	3(9)	2	1	25(50)

(4) 1998年4月から1999年3月

	不登校関連	暴力を伴うもの	摂食障害	非行	他機関への紹介	その他	計
助言	98	10	6	12	0	1	127
心理相談	5(18)	2(7)	1(6)	1(5)	2	1	12(36)